



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

9月：長月（ながつき）

9月7日は白露、朝夕は涼しくなって秋を感じられる頃です。23日は秋分の日、昼と夜の長さが同じ長さになります。

～インフルエンザについて～

東京都は8月27日、インフルエンザが流行期に入ったと発表しました。昨年も流行し始めが早かったのですが、昨年よりもさらに1か月早い流行開始となっています。福生市内では、まだ多くはありませんがインフルエンザA型が検出されています。昨年と同じように、予防接種をする前に罹患してしまうかもしれません。

★インフルエンザの症状でチェックするポイント

- 手足を突っ張る、がくがくする、眼が上を向くなど、けいれんの症状がある。
- ぼんやりしていて視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど、意識障害の症状がある。
- 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある。
- 顔色が悪い（土気色、青白い）。唇が紫色をしている。
- 呼吸が速く（1分間に60回以上）、息苦しそうにしている。
- ゼーゼーする、肩で呼吸をする、全身を使って呼吸をするといった症状がある。
- 「呼吸が苦しい」、「胸が痛い」と訴える。
- 水分が取れず、半日以上おしっこが出ていない。
- 嘔吐や下痢が頻回にみられる。
- 元気がなく、ぐったりしている。



↓「こどもの救急」のWEBサイトからチェックできます。



～経鼻弱毒生インフルエンザワクチンについて～

経鼻弱毒生インフルエンザワクチンは、2003年に以降に欧米で認可され、日本では2024年10月から2歳以上19歳未満を対象に発売となりました。従来の不活化インフルエンザ（注射）と比べて「痛くないワクチン」として徐々に使用されています。特徴としては、接種回数が1回であること、弱毒生ワクチンであるため、鼻汁や鼻閉、咽頭痛、咳嗽、喘鳴や発熱の副反応があります。また、妊婦や免疫機能が低下したには接種出来ません。ほか、接種を受けた人から水平伝播する可能性があるため、重度の喘息や乳児と接する人への接種は注意が必要です。

福生市では10月1日から小児（6ヶ月～12歳）のインフルエンザワクチン費用の助成（一部負担あり）が始まります。従来のワクチンのほかに、経鼻弱毒生ワクチン接種可能かどうかは、各医療機関にお問合せください。詳しくは福生市ホームページをご覧ください。

➡ 福生市小児インフルエンザ予防接種（任意接種）説明書



表：8月しみず小児科・内科クリニック
で診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌（ようれんきん）	85
2	胃腸炎（いちょうえん）	67
3	手足口病（てのひら）	40
4	インフルエンザA	10
5	新型コロナウイルス（COVID-19）	7
5	ヒトメタニューモウイルス	7
7	伝染性膿痂疹（とびひ）	6
7	突発性発疹	6
9	RSウイルス	4
10	水痘（みずぼうそう）	2
11	咽頭炎（のど）	1

あんず通信バックパ-はこちらから



～あんずからのお願い～

★空き状況はWebで

ホームページから確認出来ます。ご予約は前日または当日必ずお電話で（042-513-4158）お願い致します。

☎ 空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので当日8:30までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた病名によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病名（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後、必要に応じて医師が診察をします。医療証と資格確認書又はマイナ保険証（スマホの方はマイナポータルから確認させて頂きます）をお持ちください。8月から従来の健康保険証は使えなくなりました。

★お薬手帳について

入室後、処方内容を確認させて頂きます。お薬手帳またはマイナポータルを拝見します。

